

## お知らせ

令和3年3月1日（月）  
一般社団法人 日本蕎麦協会

### 令和2年度第32回全国そば優良生産者、農林水産大臣賞

#### ほかの受賞者、集団の決定について

一般社団法人日本蕎麦協会主催の「令和2年度第32回全国そば優良生産表彰事業」による農林水産大臣賞ほか各賞を、下記のとおり決定いたしました。

なお、表彰式は、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立たないため中止とし、受賞者には表彰状・副賞をお送りいたします。

#### 記

##### 1 受賞者

別紙のとおり

(参考) 全国そば優良生産表彰事業の概要

**目 的**：国産そばの生産を奨励し、消費者へ良質なそばを安定的に提供するため、低コスト・品質向上などの面で模範となる生産農家及び生産集団を表彰し、その成果を広く紹介・普及する（平成元年度から実施、今回で32回目）。

**成 果**：これまで、品質・生産性向上に努力した生産農家及び生産集団が受賞し、6次産業化、ブランド化の成功にもつながったほか、地域のそば振興のモデルとなっている。

**農林水産大臣賞の受賞者の特色**：国内最大の産地である北海道の生産者で、作付面積・収量ともに優良であり、ICT技術やJGAP認証など先進的な農業に取り組んでいる意欲的な面が評価された。

**主催**：一般社団法人 日本蕎麦協会

**後援**：農林水産省、全国農業協同組合中央会、日本農業新聞

**協賛**：一般社団法人 日本麺類業団体連合会、全国蕎麦製粉協同組合、全国農業協同組合中央会、玄蕎麦流通協議会

お問い合わせ先

一般社団法人 日本蕎麦協会

電 話 03-3264-3801

F A X 03-3264-3802

メー ル info @ nihon-soba-kyokai.or.jp

U R L <http://www.nihon-soba-kyokai.or.jp>

【別紙】 令和2年度第32回全国そば優良生産表彰受賞者一覧

令和3年2月18日 審査委員会決定

表彰の種類	受賞者名	所在地
農林水産大臣賞	株式会社はまほろ 代表取締役社長 榎林 克幸	北海道佐呂間町
農林水産省政策統括官賞	有限会社倉持農園サービス	茨城県古河市
一般社団法人 全国農業協同組合中央会会長賞	松本 清史	北海道浦幌町
	農事組合法人浜川	群馬県高崎市
一般社団法人 日本麺類業団体連合会会長賞	日晃そばグループ (日晃そば生産振興協力会)	栃木県鹿沼市
	農業生産法人 有限会社 蕎麦の國 代表取締役社長 徳重 寛司	長野県長野市
	農事組合法人ファーム広瀬	福井県越前市
全国蕎麦製粉協同組合理事長賞	農事組合法人宝谷	山形県鶴岡市
	藤田 剛誌	茨城県桜川市
	農事組合法人グリーンコーポ麻生島	福井県大野市
一般社団法人 日本蕎麦協会会長賞	横岡稲倉そば生産組合	秋田県にかほ市
	農事組合法人ひろやす	富山県南砺市
一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞	余目地域活性化対策いきいき会議協議会 余目そば栽培研究会	秋田県大仙市

### 農林水産大臣賞

氏名・集団名	株式会社はまほろ 代表取締役社長 <small>ならばやし かつゆき</small> 榎林 克幸
所在地	北海道常呂郡佐呂間町
立地・生育条件	佐呂間町は北海道東部、オホーツク海側に位置し、年平均気温8.3℃。日照時間は内陸よりも長い。年間降水量約469mm。ほ場は東西10kmに点在、透水性の悪い土壌。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	キタワセソバ(118kg/10a・1等)
そば作付面積	95.5ha (畑95.5ha)
収穫量	116,910kg
労働時間	1.65時間/10a
生産費	41,851円/10a
機械化の現状	ブロードキャスター、トラクター、パワーハロー、コンビドリルシーダー、刈払機、コンバイン
作付体系	そば～秋小麦～てん菜～そば
経営上の割合等	玄そば販売:平均4,892円/45kg、そば加工品〔対経営全体比:9%〕
出荷状況	JAサロマ(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種子を購入し、種子ほ場を設置して毎年種子更新を実施。</li> <li>・全ほ場の土壌診断を実施し、3年輪作による地力維持と病害虫の低減を目指す。</li> <li>・10年間隔での暗渠排水事業の実施、作付前年に心土破碎の施工による湿害対策を実施。</li> <li>・収穫した玄そばは自社の工場乾燥・調整・製袋まで一貫した作業工程により製造している。</li> <li>・リアルタイムキネマティックGPS測量(RTK-GPS)、可変施肥のICT技術を導入し、作業効率向上・コスト削減・省力化を実践している。</li> <li>・JGAP認証により生産工程管理の厳格化による食の安心・安全を実現し、製品への信頼性を向上させている。</li> <li>・製粉製品・十割乾麺の製造販売による6次産業化を行い、付加価値向上を図る。</li> <li>・今後は、様々な栽培技術を活かし、作付面積・収量の増加を目指す。</li> </ul>

### 農林水産省政策統括官賞

氏名・集団名	有限会社倉持農園サービス <small>くらもちのうえん</small>
所在地	茨城県古河市
立地・生育条件	古河市は茨城県西部に位置し、平均気温15.6℃、年間降水量は1161mm。海拔20m前後の平坦地で、西部に利根川が流れる。古河市稲宮地区を中心とした畑ほ場で、排水性が高い。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	常陸秋そば(99kg/10a・1・2等)
そば作付面積	25.0ha (畑25.0ha)
収穫量	24,750kg
労働時間	2.20時間/10a
生産費	15,484円/10a
機械化の現状	プラソイラー、ロータリー、バーチカルハロー、ハイクリブーム、コンバイン
作付体系	ハクサイ～ジャガイモ～そば～小麦～キャベツ、ジャガイモ～キャベツ～キャベツ～そば
経営上の割合等	玄そば販売:平均6,400円/45kg、そば粉販売:1,100円/kg〔対経営全体比:9%〕
出荷状況	集荷業者(60%)、直接販売(40%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャベツ等との輪作体系を組み、前作の野菜残渣のすき込みにより地力増進を図り、そばの無施肥栽培を実践している。自家採種が基本だが、可能な限り種子更新を実施。</li> <li>・青みの強いそばを好む製粉会社もあるので黒化率70%で収穫を始め、乾燥機で18%程度まで乾燥後、ゴミを除き、再度乾燥機で15%に仕上げ乾燥をすることで、異物除去・水分調整の徹底を図っている。</li> <li>・耕起から収穫まで機械化一貫体系をとり、スピードが速い農機により作業時間短縮を図る。</li> <li>・作業は複数名が分担するため、作業進捗をPCで管理している。</li> <li>・収穫物の40%は自社製粉し直販している。自社事務所及び近隣直売所で販売しているが、近年は口コミで販売先が拡大し、東京への宅配等も増加している。</li> <li>・社員が講師となり「そば打ち体験教室」を開催している。</li> <li>・「坂東地域そば研究会」の会員として視察研修等に参加して情報収集を行っている。</li> <li>・「令和2年度茨城県そば共進会」最優秀賞受賞。</li> </ul>

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞	
氏名・集団名	まつもと きよし 松本 清史
所在地	北海道十勝郡浦幌町
立地・生育条件	浦幌町は十勝総合振興局管内最東部に位置し、年平均気温7.1℃、年間降水量912mm。ほ場は標高20m、緩やかな丘陵地と河岸段丘で、土壌は粘土質で傾斜がある。
年産	令和元年産
品種・単収・品質	満点きらり(95kg/10a・1等)
そば作付面積	40.0ha (畑40.0ha)
収穫量	42,900kg
労働時間	0.56時間/10a
生産費	23,348円/10a
機械化の現状	油圧ショベル、チゼル、プラウ、ドリル、コンバイン
作付体系	小麦～そば～小麦
経営上の割合等	玄そば販売平均27,400円/45kg[対経営全体比26%]
出荷状況	JAうらほろ(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心土破砕、バックホーによる暗渠整備、床ざらいによる排水対策を実施。地力維持のために完熟堆肥を5t/10a、3年に1度投入している。</li> <li>・4～5年に1回種子更新を行い、乾燥・調整は風乾で実施している。</li> <li>・排水対策については今後も技術改善につとめたい。</li> <li>・整地付機(コンビネーション付機械)等を使用し、作業効率化を図る。</li> <li>・調整時の効率化によりコスト低減につなげている。</li> <li>・契約栽培により、安定的に出荷している。</li> <li>・今後は作付面積の増加と収量向上が課題である。</li> </ul>

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞	
氏名・集団名	農事組合法人 <sup>はまかわ</sup> 浜川 (代表理事組合長 <sup>おのぜき たきち</sup> 小野関 多吉) 構成農家戸数=23戸
所在地	群馬県高崎市
立地・生育条件	高崎市は県西部に位置し、年平均気温13.6℃、年間降水量1,374mm。太平洋側気候と内陸性気候を併せ持つ。標高約120m、ほ場の平均区画は15a程度。
年産	令和元年産
品種・単収・品質	在来種(114kg/10a・1等)
そば作付面積	12.0ha (田4.2ha・畑7.8ha)
収穫量	13,680kg
労働時間	2.92時間/10a
生産費	19,680円/10a
機械化の現状	乗用管理機、トラクター、ロータリー、ドリルシーダー、草刈機、コンバイン
作付体系	田:そば～水稲(ブロックローテーション)、畑:そば単作
経営上の割合等	玄そば販売:平均12,000円/45kg、そば加工品[対経営全体比:14%]
出荷状況	JAたかさき(20%)、直売(40%)、地元そば店(40%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田での湿害対策はプラウ耕、パワーハローで行い、排水性を高めている。</li> <li>・台風の影響を避けるため播種時期を変え、収量が安定してきた。</li> <li>・そば専用の循環型穀物乾燥機の導入により、乾燥効率が良くムラがなくなった。</li> <li>・米、麦、そばを組み合わせた土地利用型農業を中心に地域農業の維持発展に貢献。</li> <li>・機械化による効率的な生産と、組織の部門分けにより機能的に活動している。</li> <li>・耕作放棄地・遊休農地を積極的に活用し、面積集積を実施している。</li> <li>・加工品の販売など6次産業化にも取り組み、秋には「浜川そばまつり」の開催、群馬県農林大学校の現地実習受入れなど、地産地消・地域活性化・後継者育成に努める。</li> <li>・今後は単収向上と、2期作に取り組みたいと考えている。</li> </ul>

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	日冕 <sup>にっこう</sup> そばグループ(日冕そば生産振興協力会) (代表 奈良部 浩一 <sup>ならぶ こういち</sup> ) 構成農家戸数=6戸
所在地	栃木県鹿沼市
立地・生育条件	鹿沼市は県央西部に位置し、年平均気温12.6℃、年間降水量1,619mm。内陸性の気候である。ほ場の区画面積も様々で畑は緩傾斜地が多い。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	キタワセソバ(夏)(100kg/10a・2等)、鹿沼在来種(秋)(80kg/10a・1等)
そば作付面積	62.0ha (田35.6ha・畑26.4ha)
収穫量	27,840kg(キタワセソバ(夏))、58,400kg(鹿沼在来種(秋))
労働時間	3.42時間/10a
生産費	48,384円/10a
機械化の現状	トラクター、溝堀機、播種同時施肥機、ブロードキャスター、トラクター、ロータリー、ドリルシーダー、コンバイン
作付体系	田:そば単作、畑:そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均8,200円/45kg(キタワセソバ)、平均4,500円/45kg(鹿沼在来種) [対経営全体比100%]
出荷状況	㈱日冕(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラソイラーの深耕による周縁部への溝堀りによる排水対策、土壌改良剤によるpH調整による地力維持、播種前のラウンドアップ散布による防除などを実施。</li> <li>・優良種子の厳選選別により種子更新を行い、収穫後は迅速に乾燥を実施(2段乾燥)。</li> <li>・「寒ざらしそば」の実現に向けて、氷点下温度設定が可能な低温倉庫を導入、新そば同様の風味を年間通じて提供できるようにした。これを「氷点熟成そば碧い瞳」(商標登録)と命名し、付加価値を向上している。</li> <li>・作業請負や大規模な乾燥調製施設の利用により、生産者の負担削減、遊休農地・耕作放棄地の有効利用につなげている。</li> <li>・市内のそば店に品質の良い製粉を提供し「関東一のそばの郷かぬま」の実現を目指している。</li> <li>・今後は収穫後の雑草防除・ほ場管理、個々の農地に合わせた施肥の見極め、連作障害対策、排水対策に取り組む。</li> </ul>

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	農業生産法人 有限会社 蕎麦 <sup>そば</sup> の國 <sup>くに</sup> 代表取締役社長 徳重 寛司 <sup>とくしげ かんじ</sup>
所在地	長野県長野市
立地・生育条件	長野市は長野県北西部に位置し、年平均気温10.9℃、年間降水量1,471mm。そば栽培に適する黒ボク土が大半を占め、傾斜地が多く、また寒暖差が大きいためそば栽培に適する。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	キタワセソバ(夏)(71kg/10a・1・2等)、キタワセソバ(秋)(119kg/10a・2等)、戸隠在来(秋)(49kg/10a・2等)、信濃1号(84kg/10a・2等)
そば作付面積	31.5ha (田2.0ha・畑29.5ha)
収穫量	4,457kg(キタワセソバ(夏))、35,339kg(キタワセソバ(秋))、668kg(戸隠在来)、300kg(信濃1号)
労働時間	6.17時間/10a
生産費	35,900円/10a
機械化の現状	ブロードキャスター、ライムソー、播種同時施肥機、トラクター、ロータリー、刈払機、コンバイン
作付体系	そば単作
経営上の割合等	玄そば販売:平均18,000円/45kg [対経営全体比100%]
出荷状況	㈱おびなた(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県下で初めて土壌診断に基づいた「そば栽培用オーダーメイド化成肥料」を導入し、収量向上につなげている。本肥料は戸隠地域のそば農家に利用者が増加しており、地域全体の収量向上に貢献している。</li> <li>・風味が生きる高品質なそばの生産を目指し、二段階乾燥を実施し、「とっておき蕎麦」という商品名で㈱おびなたより数量限定販売されている。</li> <li>・種子更新は品種毎に毎年実施し、収量安定化と品質均一化を実現している。</li> <li>・機械化による省力化を進めコスト削減を進めるとともに、契約栽培により高単価による販売が可能となり、経営安定を図っている。</li> <li>・戸隠地域の遊休農地の活用、集積への取り組みにより地域農業の貢献している。</li> <li>・製粉会社・そば店・農家等の関係者による「戸隠地区そば関係者会議」に設立当初より参画し、生産者と実需者両方の意見を集約しながら品質向上、産地活性化に貢献している。</li> <li>・「長野県SDGs企業」への登録、JGAPの取得などに積極的に取り組みたいと考えている。</li> </ul>

### 一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	農事組合法人ファーム <sup>ひろせ</sup> 広瀬 (代表理事長 <sup>にわもと ひさのり</sup> 庭本 久則) 構成農家戸数=87戸
所在地	福井県越前市
立地・生育条件	越前市は福井県嶺北地方の南部に位置し、年平均気温15.4℃、年間降水量2,402mm。ほ場は小区画で重粘土び土壤で、排水不良。
年産	令和元年産
品種・単収・品質	今庄在来(76kg/10a・1等)
そば作付面積	6.9ha (田6.9ha)
収穫量	5,220kg
労働時間	3.00時間/10a
生産費	44,660円/10a
機械化の現状	トラクター溝切機、コンボ、ロータリー、条播シーダー、動力散布機、刈払機、コンバイン
作付体系	大麦～そば～水稲
経営上の割合等	玄そば販売:平均10,000円/45kg[対経営全体比4%]
出荷状況	神山地産地消の会(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そばの安定生産の最重要点である排水対策として、籾殻や瓦チップを使用した暗渠の設置や、重機を利用した額縁排水を行っている。</li> <li>・播種は発芽率向上のため、播種機を用いて2～3cmの覆土を行っている。</li> <li>・高付加価値販売につなげるため、全面積で無農薬・無化学肥料栽培に取り組み、有機質肥料使用や虫・害対策としてフェロモントラップをほ場に設置している。</li> <li>・地産地消に取り組み、生産したそばのほぼ全量を「神山地産地消の会」に出荷し、越前市を中心とした消費を促進、加工業者からは高品質との評価を受けている。</li> <li>・「安心安全でおいしい農産物」をモットーとし、令和4年を目標として全ほ場のJAS認証を目指している。当面は現況の契約生産・販売を行うが、販路を拡大したい。</li> <li>・瓦チップ・籾殻を施用する暗渠を拡大し、さらなる排水対策の実施、2毛作の検討、キワタワセソバの試験栽培、適正播種量・間隔・時期の試験栽培などに取り組みたい。</li> </ul>

### 全国蕎麦製粉協同組合理事長賞

氏名・集団名	農事組合法人 <sup>ほうや</sup> 宝谷 (代表理事 <sup>もり かおる</sup> 森 薫) 構成農家戸数=10戸
所在地	山形県鶴岡市
立地・生育条件	鶴岡市櫛引地域は鶴岡市の南東部に位置し、年平均気温約12℃、年間降水量約2,400mm。ほ場は標高250～350mの傾斜地である。
年産	令和元年産
品種・単収・品質	山形BW5号(52kg/10a・1・2等)
そば作付面積	32.7ha (田32.7ha)
収穫量	17,134kg
労働時間	4.87時間/10a
生産費	23,917円/10a
機械化の現状	バックホー、トラクター、動力散布機、コンバイン
作付体系	そば単作、秋そば～かぶ～秋そば～秋そば
経営上の割合等	玄そば販売:平均7,232円/45kg[対経営全体比100%]
出荷状況	JA庄内たにがわ(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証段階の平成26年から山形県の独自品種「山形BW5号」を導入。既存品種に比べて収量が高く容積重が大きいという特徴を活かし、収量・品質向上を図っている。</li> <li>・バックホー等を活用し、深度30～40cmの額縁明渠を設置し排水対策を徹底している。</li> <li>・県農業技術普及課と連携して栽培講習会を開催し、栽培技術の要点を確認するとともに、土壌の適正pHを維持するため平成20年頃より苦土石灰や熔リンの施用を義務化した。</li> <li>・播種前にロータリー耕を2回実施。発芽率・初期成育の向上を図っている。</li> <li>・組合が連携する地域組織「ふるさとむさ宝谷」(農業体験施設)「宝谷そば」(そば店)ともにイベント開催などを実施し、そばを地域の観光資源として活用している。</li> <li>・作付面積を拡大・団地化し、生産コストの低減に取り組んでいる。</li> <li>・平成27年に法人化、平成29年から上記組織や地域町おこし協力隊等と連携し、そばを活用した菓子の開発・販売を実施。また、「山形BW5号」を地域ブランドとしてPRすべく、平成30年に商品名として「でわ宝」を商標登録した。</li> </ul>

### 全国蕎麦製粉協同組合理事長賞

氏名・集団名	ふじ た たけ し 藤 田 剛 誌
所在地	茨城県桜川市
立地・生育条件	桜川市は茨城県の中西部に位置し、年平均気温14.1℃、年間降水量1,212mm。ほ場は大國玉地区を中心に立地、概ね平坦な地形が多く、そばはほとんど畑で栽培されている。
年産	令和2年産
品種・単収・品質	常陸秋そば(86kg/10a・1等)
そば作付面積	20.1ha 〈田12.1ha・畑8.0ha〉
収穫量	17,303kg
労働時間	2.30時間/10a
生産費	24,404円/10a
機械化の現状	ブロードキャスター、ロータリー、シーダー、背負い動噴、コンバイン
作付体系	田:そば～麦～そば(または大豆)、畑:そば～麦～そば(または大豆)
経営上の割合等	玄そば販売:平均3,360円/45kg〔対経営全体比35%〕
出荷状況	藤田多喜男商店(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播種については適期よりも早めに作付し、台風・豪雨等の際に再播種が可能になる他、後作麦の作業競合を回避することができる。・また、3年に1度サブソイラーを使用して排水性を高めている。</li> <li>・土壌改良資材の投入による地力維持、収量・品質・食味の向上に取り組んでいる。資材を投入していないほ場を比較すると、容積重増加、食味感応試験でも良好な評価を得た。</li> <li>・収益性が高く作業効率が良いと考え、そばを導入した。現在は麦・大豆との輪作体系により連作を回避し、そばの混入は2回の除草剤散布等で配慮している。</li> <li>・肥料取扱店としての強みを活かし、資材の大量購入による低コスト化を図っている。また、米穀販売業の併営により、周辺農家のそば集荷も行っている。</li> <li>・本年度は自身が取り組んだプロジェクト活動を通じて実需の要望を聴取するなどした。今後は、品質向上・販路拡大を図り、ブランド化・地域活性化に貢献したい。</li> <li>・「令和2年度茨城県そば共進会」優秀賞受賞。</li> </ul>

### 全国蕎麦製粉協同組合理事長賞

氏名・集団名	農事組合法人グリーンコーポ <sup>あそうじま</sup> 麻生島 (代表理事 竹田 善和) 構成農家戸数=45戸
所在地	福井県大野市
立地・生育条件	大野市は福井県東部に位置し、年平均気温13.3℃、年間降水量2338mm。当該組織が地域内の農地の6割を集積。地区内農地は全体的に水はけが良い。
年産	令和元年産
品種・単収・品質	大野在来(78kg/10a・1等)
そば作付面積	19.6ha 〈田19.6ha〉
収穫量	15,257kg
労働時間	1.36時間/10a
生産費	34,615円/10a
機械化の現状	溝掘機、ブロードキャスター、ロータリー、播種機、コンバイン
作付体系	そば～大麦～そば
経営上の割合等	玄そば販売:平均11,000円/45kg〔対経営全体比32%〕
出荷状況	JA福井県奥越基幹支店(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野在来を大規模で生産しており、ほ場は水はけの良い場所を選んでいるが、排水対策として深耕を実施、湿害対策に力を入れている。結果として高収量をあげている。</li> <li>・収量増のため、播種前の麦わらのすき込み、鶏糞堆肥の使用など環境配慮型農業にも取り組んでいる。</li> <li>・小畝立播種の導入など技術改良にも取り組んでいる。</li> <li>・県が定める特別栽培の認定を取得している。</li> <li>・集落の農地を積極的に集約し、そば栽培を行うことで地域貢献にも結びつけている。</li> <li>・適期播種、適期刈取を行うため詳細な作業日程を立てている。</li> <li>・今後も経営面積の拡大に努め、来年度は3haの拡大を見込む。</li> <li>・特に播種期の天候を吟味しながら作業に取り組みたいと考えている。</li> <li>・今後も栽培日誌の作成・管理により、課題の洗い出しに務める。</li> </ul>



### 一般社団法人日本蕎麦協会会長賞

氏名・集団名	横岡稲倉そば生産組合 (代表理事組合長 <small>よにおかいなくら</small> 齋藤 喜久男) 構成農家戸数=11戸
所在地	秋田県にかほ市
立地・生育条件	にかほ市は県南西部に位置し、年平均気温12.7℃、年間降水量1,590mm。横岡地区は烏海山の麓、農山村地域で、水資源が豊富な反面、湿害が発生しやすい。
年産	令和元年産
品種・単収・品質	階上早生(夏)(51kg/10a・1等)、階上早生(秋)(48kg/10a・1等)
そば作付面積	65.1ha (田65.1ha)
収穫量	29,070kg(階上早生(夏))、11,475kg(階上早生(秋))
労働時間	6.00時間/10a
生産費	29,887円/10a
機械化の現状	バックホー、トラクター、コンバイン
作付体系	夏そば～秋そば(2期作)
経営上の割合等	玄そば販売:平均9,000円/45kg(夏)、平均1,215円(秋)[対経営全体比15%]
出荷状況	榎そば研(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックホーによる深度50～60cmの明渠、弾丸暗渠を3年毎に施工し、排水対策を継続。</li> <li>・土壌診断に基づく施肥の調整や天気予報に基づく適期播種を実施し、黒化率70%での収穫という実需の要望に基づき、適期刈取に務めている。</li> <li>・火力乾燥では高温になりすぎないように、送風温度を30℃以下で小まめに調整している。また、水分含有量に応じて通風乾燥を行い、高品質なそばに仕上げている。</li> <li>・品種の特徴を最大限に活かすため、種子更新を毎年実施している。</li> <li>・農村集落維持、継承に向け耕作放棄地を有効活用すべく、機械化による作業効率化に務めている。</li> <li>・ほ場毎に耕起～播種を1日で行うなど作業効率向上・作業時間短縮を図る。</li> <li>・小学生から高齢者まで幅広い年代を対象とし、講師を担当するなど、そば打ちを通じた食育推進・担い手育成に取り組み、地域活性化に貢献している。</li> <li>・地域内外の他団体と交流会を開催し、栽培技術・経営管理能力の向上を図る。</li> </ul>

### 一般社団法人日本蕎麦協会会長賞

氏名・集団名	農事組合法人ひろやす (代表理事組合長 <small>のむら せいきち</small> 野村 清吉) 構成農家戸数=43戸
所在地	富山県南砺市
立地・生育条件	南砺市は県西部の砺波平野の南西部に位置し、8月平均気温26.9℃、8月平均降水量約237mm。標高65m、冬は雪に覆われる。用排水路が整備され30a区画の水田地帯が広がる。
年産	令和元年産
品種・単収・品質	信濃1号(93kg/10a・1等)
そば作付面積	12.0ha (田12.0ha)
収穫量	11,160kg
労働時間	1.20時間/10a
生産費	23,550円/10a
機械化の現状	ダイレクトシーダー、乗用管理機、コンバイン
作付体系	大麦・タマネギ～緑肥～そば～水稻
経営上の割合等	玄そば販売・種子販売:平均8000円/45kg[対経営全体比15%]
出荷状況	JAとなみ野(100%) ※全量JAに出荷し、一部を種子として買い戻している
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑肥(クロタリヤ)の作付による土づくり、雑草抑制などの対策を実施。</li> <li>・大麦・タマネギ・緑肥作付時に額縁排水溝の手直しを行い、湿害対策を徹底することで地域の平均よりも高い単収を実現している。</li> <li>・「南砺市そば栽培出荷組合」では、栽培品種を「信濃1号」に統一している。JAで低温保管した種子を翌年利用するため出芽率が高い。乾燥・調整も組合で一括して行い、生産性向上と高品質化を図っている。</li> <li>・耕起(緑肥のすき込み)、整地・播種・施肥・排水溝の設置の一連の作業を1日で行い、作業の効率化を図っている。また、その他の作業も機械化により省力化・低コスト化につなげている。</li> <li>・製粉会社との契約栽培により実需者が求める色・香り等を重視したそばの生産を実施。</li> <li>・地域におけるそば祭りの実施により地域活性化に貢献している。</li> <li>・今後も輪作による水田の高度利用を図り、そばの栽培を継続してゆきたい。</li> </ul>

## 一般社団法人 日本蕎麦協会会奨励賞

「一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞」は、2次審査において各賞の対象とならなかった候補者について、他の模範となる生産者として、今後の経営の発展を期待して贈呈することといたしました。奨励賞受賞者については、来年度以降、作付面積・収量・生産技術・経営・取り組みなどについて発展が見られた場合には再度表彰事業への応募が可能となります。

<令和2年度第32回 一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞>

余目地域活性化対策いきいき会議協議会 余目そば栽培研究会

秋田県大仙市